

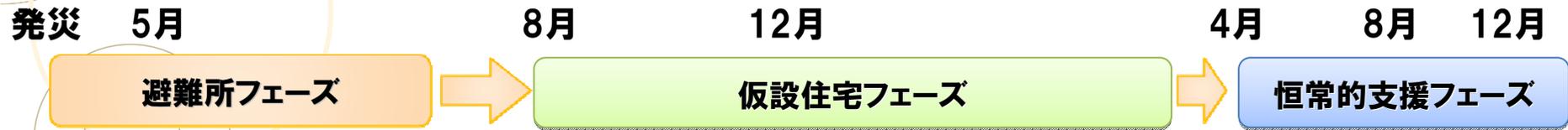


「復興支援ITボランティア」の活動とこれから

特定非営利活動法人
NPO事業サポートセンター

<http://www.npo-support.jp/>

復興支援ITボランティア これまでの動き



情報面の支援をフェイスに
多様なニーズ充足

- | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 第1回
5/1
↓
5/6 | 第2回
5/13
↓
5/16 | 第3回
6/8
↓
6/13 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|

ICTキャラバン隊
による機材支
援・ICT基盤支援
の展開

ボランティア派
遣を行い、避難
所受付でのキオ
スク端末活用を
サポート



コミュニティ再生支援をテーマに
ICTに関する個別の多様なニーズに寄り添う

- | | | | | | | | |
|------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 第4回
8/4
↓
8/8 | 第5回
9/22
↓
9/26 | 第6回
10/21
↓
10/24 | 第7回
11/22
↓
11/25 | 第8回
12/8
↓
12/11 | 第9回
1/19
↓
1/22 | 第10回
2/23
↓
2/26 | 第11回
2/26
↓
2/29 |
|------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|

ボランティア派遣を行い、仮設住宅
集会所で、様々なICTに関するニー
ズに応える避難所受付でのキオス
ク端末活用をサポート



地域内でのICT利活用の
本格的サポート

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 第12回
3/15
↓
3/18 | 第13回
3/18
↓
3/21 |
|---------------------------|---------------------------|

ボランティア派遣活動と、常設型の
拠点での支援を組合せ、より地域の
コミュニティ再生にICTが活用される
ベクトルでのスキルサポートや、人
材育成など



発災以降、被災地でのICT利活用を通じた支援を継続的に実施

各回の実施概要(第9回まで)

	日程	活動地	活動地数	拠点	活動参加人数	うち学生	
第1回	5/1～6 4泊6日	大槌・釜石	6カ所	国立岩手山青少年交流の家	29名	17名	
第2回	5/13～16 1泊4日	大槌・釜石	6カ所	遠野市穀町コミュニティ消防センター	21名	18名	
第3回	6/8～13 3泊6日	大槌	6カ所	遠野市根岸コミュニティ消防センター	10名	8名	
第4回	8/4～8 2泊5日	大槌・釜石・陸前高田	6カ所	大船渡市上山公民館	37名	27名	避難所フェーズでの活動地フォローアップ実施
第5回	9/22～26 2泊5日	釜石・大船渡・陸前高田	7カ所	遠野市大日堂コミュニティ消防センター	40名	16名	大型バス利用
第6回	10/21～24 (1泊4日)	大船渡・陸前高田	6カ所	大船渡市福祉の里センター	19名	9名	大型バス利用
第7回	11/25～28 (1泊4日)	大船渡・陸前高田	4カ所	大船渡市福祉の里センター	26名	13名	大型バス利用
第8回	12/8～11 (1泊4日)	大船渡	4カ所	大船渡市福祉の里センター	37名	4名	大型バス利用 デルプロボノメンバー26名 (支援員サポート17カ所で実施)
第9回	1/19～22 (1泊4日)	大船渡	6カ所	大船渡市福祉の里センター	31名	8名	大型バス利用 2つの地区公民館でインターネット接続サポート
		延べ活動地数	51カ所		250名	120名	

参考：第8回実施工程（1泊4日・車中2泊現地1泊）

DATE		SCHEDULE			
1 ~ 2	12/08 (木)	<p>大型バス1台 テル株式会社(川崎)出発====芝公園出発====(首都高速・東北自動車道)====大船渡市内「福祉の里」到着 配車20:30/出発21:00 21:45 22:00 ...<車中宿泊>... 朝(26日 7:00頃想定)</p> <p>■到着後、「福祉の里」にて各自朝食&オリエンテーション実施(～8:15まで)</p> <p>「福祉の里」出発====ボランティア活動現場 ※複数箇所あり:場所名・住所は下記&別紙参照 8:15 ※出発時に昼食お弁当を配布</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">車両ルートとボランティア現場</p> <p>A:大型バスチーム 福祉の里====長洞(猪川町長洞仮設団地)====赤崎(赤崎町大立仮設団地)====三陸(三陸町黒土田仮設団地) 8:15 8:20 9:00 9:20</p>			
	12/09 (金)	<p>B:ワゴン車① 福祉の里== 8:15</p> <p>C:ワゴン車② 福祉の里== 8:15</p> <p>D:ワゴン車③ 福祉の里== 8:15</p> <p>■【現地復興 各現場担当ボランテ</p> <p>■入浴・夕食・ミ</p> <p>オーシャンビュー丸森 21:0</p>			
3 ~ 4	12/10 (土)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">車両ルートとボランティア現場(基本的に前日と同じ)</p> <p>大型バスチーム 福祉の里====長洞(猪川町長洞仮設団地)====赤崎(赤崎町大立仮設団地)====三陸(三陸町黒土田仮設団地) 8:15 8:20 9:00 9:20</p>			
	12/11 (日)	<p>■【現地震災復興ボランティア活動実施】(9:00～15:30予定)</p> <p>各現場担当ボランティアをピックアップ(15:30～16:30)====五葉温泉 ■五葉温泉にて入浴・夕食・ミーティング実施(17:00～19:00) 17:00頃</p> <p>五葉温泉====大船渡市民文化会館・市立図書館「リアスホール」 ■リアスホールにてWrap-Upミーティング 19:00頃</p> <p>リアスホール====(東北自動車道・首都高速)====東京駅(丸の内口)====テル株式会社(川崎)到着 22:00頃 ...<車中宿泊>... 7:00頃 8:00頃</p>			

ボランティア参加者の横顔

- 当初は学生主体
- SE職など、ICT関係のお仕事をされている方も増加
- ICTキャラバン隊関連のIT企業のみなさんの参加
- 被災地に足を踏み入れたかったけれど、体力に不安があった、、、
- 普段普通に使っているだけでも役に立てると聞いたので、、、

ICTのスキルのある方はもちろん、
被災地に足を踏み入れてなにかしたい、という方も歓迎！

- 仮設住宅へ個別訪問してチラシ配布
- お子さん対象のパソコンを使ったプログラム
- むしろあまり得意でない人のほうが、サポートを受ける側の敷居が低いかも。

現在までの活動実績・進捗状況

【支援展開先】

- ・直接ボランティア展開した活動地: 51カ所
- ・PC等の提供先: 52カ所(暫定数値)

【ボランティア派遣数】

- ・250名以上

【PC展開台数】

- ・直接提供: 200台
- ・連携団体経由: 100台
- ・合計: 300台

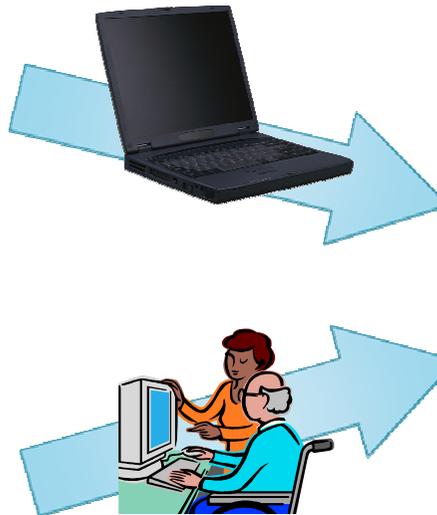
(現在、ほぼ全数提供完了。継続活動のための協力依頼中)

「復興支援ITボランティア」とICTキャラバン隊

ICT関連企業
(ICTキャラバン隊)

連携

NPO事業
サポートセンター



被災地でのICT利活用支援



- 日本マイクロソフトをはじめ、ICT業界各社で形成されている「ICTキャラバン隊」より、PC及び周辺機器のご提供を頂く。
- NPO事業サポートセンターは主催事業として、ボランティア派遣事業を5月以降実施。各社からの提供機材を現地に展開し、等身大で寄り添いながらITサポート活動を実施。

発災以降、セクターを超えた連携＝それぞれの得意分野での活動を紡ぎ合わせて活動



協賛企業・団体

【協賛企業・団体】

ヤフー株式会社、日本マイクロソフト株式会社、
株式会社バッファロー、
株式会社バッファローコクヨサプライ、
デル株式会社、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）、
株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、
日本ヒューレット・パッカード株式会社、
パナソニック株式会社、オンキヨー株式会社、
レノボ・ジャパン株式会社、セイコーエプソン株式会社、
慶應義塾大学看護医療学部宮川祥子研究室、
遠野山里暮らしネットワーク
霞ヶ関ナレッジスクエア

【協力施設等】

遠野市消防コミュニティセンター
大船渡上山公民館
大船渡「福祉の里」

活動ビジョンについて(仮設フェーズにおいて)

VISION	MISSION		ACTION	期待される成果
自立のために	リーダーの応援(「地域」の自立)	<ul style="list-style-type: none"> 被災地のリーダーの復興に関する活動をIT面から支援する リーダー同士の連携を支援する 各種復興プロジェクトの情報発信を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> Skypeで各拠点をつなぐ ブログ・ツイッターのセットアップ 	<ul style="list-style-type: none"> リーダー同士の連携による問題の解決 ブログによる定期的な情報発信を通じたさらなる支援の獲得
	被災した方々の再雇用に貢献(「個」の自立)	<ul style="list-style-type: none"> 被災した方々がIT技術を身につけて、雇用に結び付くよう支援する 被災した方々が自身の得意分野で仕事ができるよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> PC入門セミナー ワード、エクセル等のスキルアップセミナー ブログ、ツイッターのセットアップ チラシ、名刺の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 被災した方々が身に着けたITスキルを用いて雇用を獲得する ITを通じた情報発信によって顧客を獲得する
	主体的なIT活用支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々同士が教えあえるような支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の方々のPC操作をサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の方々が教えあい、スキルを高める
コミュニティ再生のために	従来のコミュニティの再生	<ul style="list-style-type: none"> 震災前のコミュニティの再生・再構築につながるような支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> はがき作成 Skypeの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 震災前の近隣の方同士が接点を持つ
	新たなコミュニティの創生	<ul style="list-style-type: none"> 仮設地内でのコミュニティ創生を支援する 被災地のコミュニティ再生にITが活用されるよう支援する 住民間の情報共有体制作りを支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯メール、MLを活用した連絡網ツールの設定支援、導入サポート 名刺作成、掲出物作成 	<ul style="list-style-type: none"> 仮設コミュニティの関係性が活性化される
IT親和性向上のために	ITを身近に感じる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ITへの苦手意識を改善する ITリテラシーのボトムアップを図る PCから楽しみを見出す 	<ul style="list-style-type: none"> 検索やYoutube 雇用情報の検索 PC以外のIT機器の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識を払拭し、PC操作に積極的になる
その先のために	IT関連の各種アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 活動前のヒアリング実施(ボランティアによる実施やコーディネータによる実施) 		

これまでの活動から

地域の自立のために

- 地域のリーダーを応援
 - ブログ、SNSなどを通じた情報発信サポート
 - Skypeでの拠点間の交流促進
 - メンバーへのメールアカウント設定
- 地域内での「ICT学び合い」を支援
 - PC講習会の実施



コミュニティ再生・新生のために

- 震災前のコミュニティの再生
 - はがき作成支援、名刺作成支援 (Word) などによる交流の活性化
 - Skypeなどによるコミュニケーションサポート
- 新しいコミュニティの創生
 - 地域内活動の支援 (Word、PowerPointでのチラシ作成など)



＜第5回＞ママハウス平田(釜石市平田第6仮設)

子育て支援拠点が仮設住宅に

- 地域でのコミュニティビジネスとして、仮設住宅の一室に子育て支援拠点開設
- 地域の女性を雇用し、妊産婦支援、子育て支援を行う



スタッフスキルサポート 発信サポート

- 作業環境のセットアップ(プリンタ設定、データカード設定)
- スタッフへのメールアドレスセット、PC基本操作のサポート
- ブログを開設し、スタッフによる入力ができるようサポート
- 後日、関係団体が連携してサポートを実施し、ホームページ立ち上げ支援



<第8回>大船渡仮設支援員サポート(大船渡市)

プロボノチームによる 巡回型サポート

- 大船渡市内の17仮設住宅集会所を90分づつ2~4名の支援員を対象にITスキルのサポート



ネット環境を 活用した活動をサポート

- Yahooカレンダーとyahooメールを活用した情報共有を環境面と、操作サポート面で支援
- ブログ立ち上げ支援を行い、発信をしながら習熟にもつなげるアクション



参考：現地側のパートナーシップ

沿岸仮設住宅支援員配置支援プロジェクトと連携

- 北上市による国の緊急雇用の枠組を活用した支援
- 大船渡市内、30数団地に複数人配置し、住民視点でのサポート実施
- ICTキャラバン隊提供のPCと通信環境、プリンタを活用して、仮設集会所の利用促進
 - Yahooメールの活用
 - Yahooカレンダーによる集会所イベント情報共有
- 9月にyahoo！＋MSプロボノ講師によるIT講習、12月にデル有志によるプロボノサポート実施

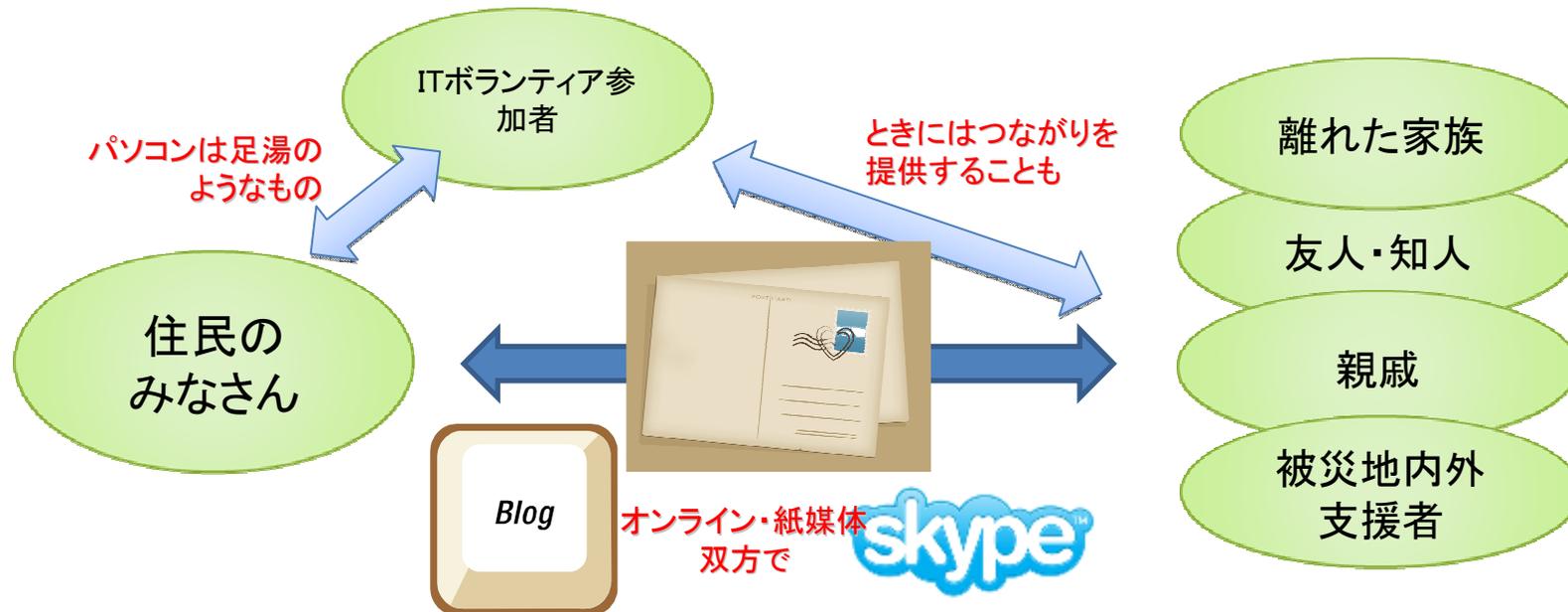
今後も地域コミュニティにおけるICT利活用サポーター養成などで連携をすすめたい！

- 個別サポートの強化
- 派遣型のサポートのコーディネート
- 集合研修の実施
- コミュニティ活動のノウハウとICTをあわせて伝道できるような人材創出

ICTが被災地にもたらすもの

「ICTを通じた人と人のつながり創出」

- ICTは、直接的・間接的に人と人のつながりを作り出すきっかけを与えてくれる。



2012. 4以降の展開について(見込み)

- 大船渡市、陸前高田市、大槌町における仮設集会所への訪問活動

- 2011. 8からの活動継続、エリアの拡大
- PC環境提供についても継続して実施見込み

- 大船渡市の地区公民館における戦略的なICT利活用プロジェクトの推進

- 大船渡市の地区公民館における、再生復興推進のための戦略的ICT利活用プロジェクトの推進
 - 2012年度は内閣府「新しい公共」事業として、大船渡市の2地区で推進見込み
 - それぞれ、地域主体と連携して、地域コミュニティの再生復興推進をICT面を中心にサポート

- 気仙沼市における戦略的なICT利活用プロジェクトの推進

ICT活用を前提とした地域再生につながるような継続支援へ

- これから再生への動きの中での情報共有のための連絡手段、印刷物の作成
- プロジェクトメンバー間での連携促進(メール、Skype等活用)
- 地域横断的な情報の共有(イベント情報など)
- 地域の自主活動(サークル)でのICT利活用
- 再生への歩みの対外的発信

<お願い>2012.4の活動に向けて

2012年度、継続的な支援活動実施に向けて、みなさまのお力を必要としております。

- ・パソコン 150台程度(ノートPC)
- ・インクジェットプリンタ 30台程度
- ・レーザープリンタ(モノクロ) 20台程度
- ・モバイルデータカード(Wifi)50台程度

現在、活動を計画している拠点、施設においては、1カ所につき、PC3台、プリンタ1台、モバイル通信環境1セットを想定しています。

プリンタについては、よりビジネスよりの活用が見込まれる分はコストを勘案して、レーザープリンタの貸与が望ましいものと考えられます。

★第12回・第13回参加者募集中

第12回：2012年3月15日（木）～3月18日（日）

第13回：2012年3月18日（日）～3月21日（水）

いずれも、大船渡市および陸前高田市での活動を予定しています。

- 仮設住宅での暮らしの雰囲気のごく近くでの活動を通じて、テレビや新聞からはつかみ取れない本当の気配に触れる
- 地域の前向きなエネルギーにも触れて、課題と希望双方を視野にいれた復興へのプロセスにリアル参加する

片道のみバス乗車、途中参加など御相談ください